YUTAKA'S communication press

豊興業はお客様に大切なことを伝え続けます ——

Continue

vol.5
WINTER
2016▶2017

豊興業の経営理念

人々のために、技術を伝播し、わくわく感を共創する

現場見学
公益財団法人
名古屋市みどりの協会

業界のトレンド
「省エネ＆省コストを実現する
オフィスエアコンの定期点検」

お掃除クルーさんの金言
ATグループ様 高辻本社
事業所の金言

NewsLetter in Autumn

Interview　総務部長　永田 圭司
頼りになる
縁の下の力持ちでありたい

何でもお困りクエスチョン
加湿器は感染予防に
効果があります

TOP INTERVIEW
ABOUT KEI EI RINEN

豊興業をご紹介する媒体として2016年度より発行いたしております「CONTINUE」は、2年目を迎えることとなりました。今号では、皆さまへのサービスの基盤となる弊社の経営理念について、お伝えしたいと思います。

代表取締役
酒井秀京

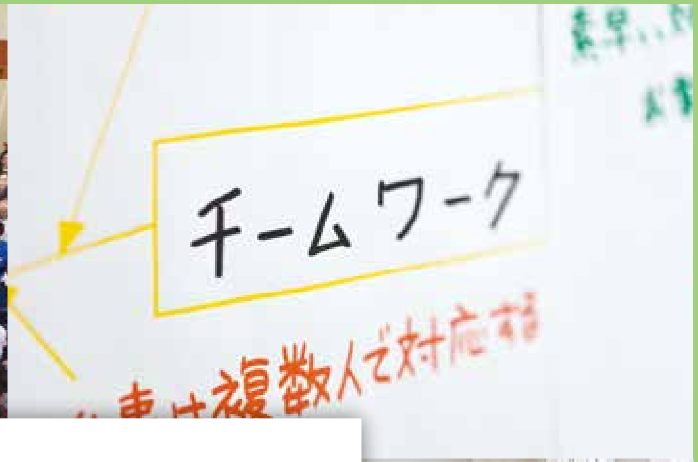
人々のために、技術を伝播し、わくわく感を共創する

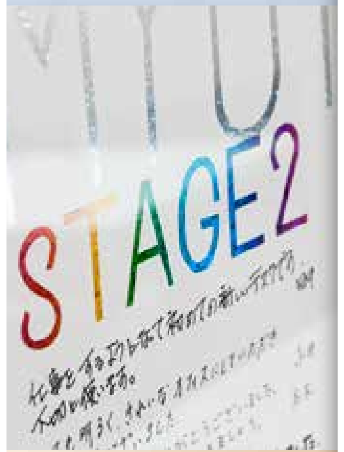
豊興業の経営理念

豊興業は、わたくし酒井秀京で3代目となります。2012年に現在の経営理念が形となりましたが、その際に留意したのは、「働く皆さまの職場環境、公共の場を少しでも美しく」という熱意の元、初代が自身で掃除道具を持ち歩き、お客様を開拓していった初心を忘れないこと。そして、今在籍する社員の想いも反映させたい、ということでした。

そこで、経営理念を作成する際には、全社員にアンケートを実施。仕事についての所感や、会社への意見等、300通を超えるアンケート用紙にくまなく目を通しました。社員の考えを知ることで、トップダウンの押し付けではなく、社員の意思を反映させた、「実」のある経営理念となったと思っています。

この経営理念が、いわゆる「絵に描いた餅」ではなく、社員一人ひとりの中にしっかりと根付き、クライアントの皆さまの利益に貢献できるものとなるよう、これからも精進を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





人々のために

会社と会社、会社と社員、そして人と人。自分の会社だけが存続するのではなく、自分だけが幸せになるのではなく、常に相手を想うこと。常に相手の幸せを願い、相手のために行動すること＝コミュニケーションを大切にします。

技術を伝播する

自社施工を基本とする豊興業には、50余年の歴史の中で培ってきた技術があります。この技術を日々高め続けることで、新しい商品技術の開発やビジスモデルを創造し、自社の研鑽とともに業界の底上げにも貢献してまいります。

わくわく感を共創する

社員一人ひとりの行動や仕事が、お客様や社会にとって「わくわくすること」につながれば、そこには笑顔と幸福が生まれます。社員自身も自分の仕事にわくわくし、日々新鮮な気持ちで取り組むことで、皆さまに驚きや共感をご提案します。

フィルター清掃は快適空間作りです

作業現場リポート

フィルター清掃

-業務部-

業務部　業務グループ
伊藤　智英
昭和59年入社　勤続32年

-営業部-

営業部　営業グループ主任
島井　秀彦
平成23年入社　勤続5年

公益財団法人 名古屋市みどりの協会

さて、突然ですが、もし今この冊子をご覧になっているあなたが会社においでなら、天井を見上げて下さい。様々な「通風口」のような装置がついているかと思います。これらは、エアコン・空調機の送風口であったり、換気扇であったり、さらにはファンによる強制排気と排気に伴い自然に吸い込まれる空気の為の吸気口の両方を備えた「ロスナイ」等、違う役割を持った装置だったりします。見た目は似ていますが、いろいろあって面白いですね。

今回の作業現場リポートは、これら天井に埋め込み式になった、空気管理アイテムの清掃作業です。現場は、名古屋市民の憩いの場所・鶴舞公園内の「公益財団法人 名古屋市みどりの協会」にご協力いただきました。

こちらのオフィスでは、全館禁煙が徹底され、清掃が行き届いているため、蓋やフィルター自体が非常に綺麗です。喫煙可能な建物や、油が空気中に散る飲食店の調理場等ですと煩雑な清掃が必要ですが、こちらでは年に2度を基準に定期的に清掃を行っています。

作業内容としては、各器具の蓋とフィルターを外し、汚れを落とすことが主となりますが、鶴舞公園の玄関口と言うロケーションから、パンフレット等を求めて土のついた靴で一般の方も多く出入りする玄関口は若干汚れが目立つため、フィルターを外してから、掃除機やクロス等を使って器具自体に付着した汚れも落とすようにしています。

空気は目に見えないため、汚れに気が付きにくい性質のものです。また、換気口や通風口が汚れていると、機械の劣化にもつながります。お客様が綺麗な空気のオフィスで快適に仕事ができるように、丁寧に清掃することをスタッフ全員心掛けています。

豊興業のこだわり

「目に見えないからこそ丁寧に」

空気は目には見えません。はめ込み式の空調設備や換気設備も、蓋をしてしまえば、中までは見えません。直接汚れを見ることができないだけに、そして、目に見えないからこそ、安心してお使いいただけるように、より丁寧に清掃しています。

器具を大切に扱うこと

フィルターは非常にデリケートなので、その材質に合わせた道具を使って、丁寧に洗います。また、天井にはめ込む蓋は直接目に見えるものなので、傷がつかないように留意することが大前提。

仕事の流れ

蓋を外しフィルターを取り出す

▽

内部に汚れが見られる場合は
掃除機やクロスを使い内部を清掃

▽

蓋、フィルターを洗浄液を使って洗浄

▽

元通りにセットして終了

洗浄後、濡れたフィルターを▶タオルで拭き取ります

◀フィルターの汚れを掃除機で吸い取ります

しっかりすすぐ

十分なすすぎは、汚れを落とすことと同じぐらい大切です。綺麗な空気が循環するように、洗浄液はしっかりと落とします。

机の保護

天井の蓋を外す際、埃などが下にある机に落ちないように、シートで保護します。

お客様からのご感想

公益財団法人名古屋市みどりの協会
総務課主任　齋藤慎也 様

私はこちらの事務所で5年目になりますが、豊興業様には、それより以前から同事務所の清掃管理をお願いしており、長くおつきあいさせて頂いております。社員以上に建物のことを熟知して下さりお仕事もとても丁寧なので、窓や床等建物全般の清掃業務も安心してお任せすることができます。

業界のトレンド

「省エネ＆省コストを実現するオフィスエアコンの定期点検」

2015年11月にパリで開催されたCOP21（国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議）で、温室効果ガスの排出を"実質ゼロ"にすることを目指す国際ルール「パリ協定」が採択されるなど、地球温暖化に対し、より具体的な取り組みが国際的に求められています。日本国内でも会議に先駆けて、2015年4月に、オフィスのエアコンや業務用の冷蔵庫など空調機器の点検を各企業に義務付けた「フロン排出抑制法」を制定。対象となる機器の設備管理台帳の作成、3カ月に1度の目視による「簡易点検」、有資格者による1～3年に1回の「定期点検」の実施が義務付けられました。

面倒に思えるこのフロン法は視点を変えれば、空調機器の点検・管理を「省エネ・省コスト」対策に生かすことができる利点があります。汚れたフィルターによって消費電力が2倍となる事例もあり、定期点検を行うことで故障を未然に防ぐこともできるため、省エネ＆省コストにつながるオフィスエアコンの定期点検が、今トレンドとして浮上しています。

さらに、環境省では、低炭素社会の実現に向けて、業務用等の建築物から排出される温室効果ガスを削減するため、建築物の快適性や生産性を確保しつつ、設備機器・システムの適切な運用改善等を行う業務用等建築物の「エコチューニング」事業を推進。このエコチューニングについては改めて「CONTINUE」にてより詳しく説明していきます。

お掃除クルーの金言

ATグループ様 高辻本社事業所の金言

これまで、クルーさん一人一人にスポットを当ててきましたが、今回から事業所単位でチームの話を聴いていきます。

ビルメンテナンス業務のうち清掃作業は、毎日行う清掃を日常清掃、一定の期間毎に行う清掃を定期清掃・特別清掃と呼びます。

豊興業がさせていただいている日常清掃ですが、お客様の事業所の広さによって1人で行う所もある一方で、数人、数十人のチームで行う所もあります。

今回はATグループ様の高辻本社を担当するクリーンクルーのチームです。ATグループ様では、数年前より進められてきた高辻本社地区の再開発が完了します。お客様の入居が始まった新しいピカピカの建物を清掃するチームを取り纏める土井チーフにお話を伺いました。

－普段の仕事で気をつけていることは?

常にお客様と一緒ですから、お客様立場で見て仕事をするようにしています。

特にショールームでは清掃作業だけに集中するだけでなく、周囲にも注意を払い、お客様の邪魔にならないような配慮をしています。

－新しいビルでの仕事ですが何か抱負はありますか。

まだ入居が始まったところなので、私たちだけでなくお客様も初めての事が多く、落ち着くまでは清掃という枠を外して、客様と一緒に過しやすい建物環境を創るという視点で仕事をしています。

チーム全員が新しい環境に慣れて、段取り良く仕事ができるようにしたいです。

－今、仕事を通じてのやりがいは何ですか?

新しい建物なので、このキレイな状態を維持していきたいという想いがあり、気遣いもありますが、やりがいにもなっています。

また、清掃資器材のほか、お客様からのご要望もあり、ユニフォームも新しいものに変ったことも、やりがいにつながると感じています。

－チームで仕事をしていく上で、取り纏めていく役割については?

人数が多くなると経験や能力、年齢も異なるため、自分の基準で話をしたり、指示するのではなく相手に合わせて伝えることが大切だと感じています。

相手を理解する努力をして指示を出すように心がけています。

そうは言っても簡単ではないので、外部の研修を受講させてもらう等スキルアップに取り組んでいます。

それから、お客様に提供する清掃品質を向上させるためにも、皆が同じ手順、基準で作業ができるようにすることも役割だと思っています。

金言

キンゲン（大辞林 第三版より）①人生や生活の上で尊重し模範とすべきすぐれた格言。金句。②〘仏〙仏の口から出た尊い教え。こんげん。

INTERVIEW

頼りになる縁の下の力持ちでありたい

弊社には、現場での清掃やビル管理に携わる業務部、そして、営業を担当するファシリティーマネージメント事業部という大きく分けて2つの部署があります。これらの部署のスタッフがより円滑に仕事を進めることができるように、社内の調整役として職場や仕事の土台を整えることが、わたしたち総務部の仕事です。お客様をお迎えすることも多い自社ビルは、ある意味ショールーム的な性格も持っています。ですから、常に快適に美しく保つことも、大切な業務の一つです。

総務部は、清掃やビル管理を任せていただいているお客様とは、直接かかわる機会が少ない部署だと思います。けれど、まず、自社の環境を良くすることが、お客様へのより質の高いサービス提供につながるとの想いから、総務部のメンバーは、会社のスタッフを通してその先にあるお客様の顔をいつも思い描きながら、日々の業務に励んでいます。

私たち総務部が担う業務は、会社のスタッフにとって"空気のような存在"でなければならないと私自身は思っています。あって当たり前、けれど、なくてはならない存在。そこにわれわれ総務部のやりがいもあります。決して目立つ部署ではありません。けれど、皆さまと豊興業を繋ぐ一助を担えるように、これからもがんばっていきたいと思います。

また、ホームページの更新も総務部の仕事です。ご意見やご感想などございましたら、是非お気軽に総務までお寄せください。スタッフ全員心よりお待ちしています。

総務部長　永田 圭司

NEWS Letter in Autumn

永年勤続表彰

今年も11月1日に永年勤続表彰を実施しました。30年表彰が2名、20年表彰が5名と勤続年数の長い表彰者が多く、10年表彰も9名いました。30年表彰者のクルーは勤務場所の建物が完成した時から勤務されているというのが驚きです。

勤務場所が違うクルーは会うことがほとんどないので、「10年前も同じ永年勤続表彰でお会いしましたよね」という会話がなされていたことが心に残りました。

また、社長も就任10年目でしたので、会の最後にサプライズで花束贈呈を行いました。

あいちCO_2マニフェスト2020 ★★★（トリプルスター） 認定事業者となりました

あいちCO_2マニフェスト2020が開始された平成24年度から宣言事業者として取り組みを行い、今年の12月に最高ランク、トリプルスターの認定を頂くことができました。

豊興業では他にもビルメンテナンスサービスのカーボンオフセット等、CO_2削減への取り組みを行っています。ISO14001、名古屋市エコ事業所認定をはじめ、環境に対する取り組みも行っています。

京都議定書の期間が終わりましたが、豊興業は継続してCO_2排出削減に取り組んでいます。

※あいちCO_2マニフェスト2020・・・2020年度に向けCO_2排出削減の取組を宣言し県がそれを認定・PRする制度。

協会清掃

豊興業が所属している（一社）愛知ビルメンテナンス協会の主催で、名古屋栄・錦地区の一斉清掃活動を実施しました。

この清掃活動は、（一社）愛知ビルメンテナンス協会が定期的に実施しており、豊興業からは2名の社員が参加しました。

何でもお困りクエスチョン

加湿器は感染予防に効果があります

冬季に流行するインフルエンザを引き起こすインフルエンザウイルスの生存率は、湿度と密接な関係があり、湿度を50%〜60%に保つことで感染予防に効果があると言われています。(低すぎるとインフルエンザ予防にならないし、60%を超えるとダニの恐れ、70%を超えるとカビの恐れがあります。)

湿度を上げる手段は様々ですが、最も利用されているのは加湿器ではないでしょうか。

加湿器には**スチーム式、気化式、超音波式、ハイブリット式**と沢山の種類があり、それぞれメリットとデメリットが存在します。

スチーム式　水をヒーターにより沸騰させて蒸気に変える方式です

メリット

- ・加湿能力 が高く、即効性がある
- ・水を加熱するので細菌などが死滅して衛生的
- ・フィルターなど交換品がない

デメリット

- ・消費電力が他に比較すると多い
- ・噴出し口から高温の蒸気が出るので注意が必要
- ・ヒーターにミネラル分が残るのでこまめな掃除が必要

気化式　フィルターなどに水を含ませファンで気化させる方式です

メリット

- ・送風のみなので消費電力が少ない
- ・スチーム式と違いヒーターを使わないので噴出し口が熱くならず安全

デメリット

- ・加湿能力が弱い
- ・冷風が出て部屋の温度を下げる
- ・フィルターの手入れや交換が必要

超音波式　水を超音波によって振動させ微粒子にしてファンで飛ばす方式

メリット

- ・消費電力が少ない
- ・スチーム式と違いヒーターを使わないので噴出し口が熱くならず安全
- ・アロマなどを入れる事ができる

デメリット

- ・水中のミネラル分も一緒に飛ばしてしまうので床などに白粉がつくこともある
- ・手入れを怠り水の中で細菌などが発生してしまうと、それらも一緒に微粒子化してしまう

ハイブリット式　スチーム式と気化式の中間のような方式

メリット

- ・消費電力が少ない
- ・スチーム式と気化式の中間でバランスがよい

デメリット

- ・価格が高い
- ・フィルターの手入れや交換が必要な物が多い

お手入れには日々の水替えだけでなく、定期的なメンテナンスも必要になります。簡単な構造で、メンテナンスがしやすく、扱いやすいものを選ぶと良いですね。

また、業務用については、天埋型、エアコン・全熱交換機組込型、ダクト接続型など様々な種類がありますので、メンテナンスに困ったときには「豊興業」へご相談ください。

メンテナンスに困ったときには「豊興業」へご相談ください。

ご質問・お問い合わせ先

豊興業株式会社

〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町4-48　TEL／052-851-0077
URL／www.yutakakogyo.co.jp　E-mail／info@yutakakogyo.co.jp

豊興業はカーボンオフセット宣言に取り組んでいます。 詳細はこちら http://www.j-cof.go.jp/sengen/